

排出ガス測定項目 測定場所:赤磐市環境センター

①

項 目	基 準 値	煙道	令和6年度	
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)	1ng-TEQ/m ³ N 以下	1号炉	令和6年11月28日	0.044
		2号炉	令和6年11月29日	0.087
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N) ※立ち上げ時	1ng-TEQ/m ³ N 以下	1号炉	令和6年12月5日	0.200
		2号炉	令和6年12月6日	0.130
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N) ※立ち下げ時	1ng-TEQ/m ³ N 以下	1号炉	令和6年12月5日	0.064
		2号炉	令和6年12月6日	0.170

②

項 目	基準値	煙道	令和6年度			
			令和6年5月28日	令和6年8月20日	令和6年11月28日	令和7年2月14日
ばいじん(ダスト)濃度	0.15g/m ³ N以下	1号炉	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
硫黄酸化物濃度	320ppm以下		0.7	0.5	0.5未満	3.6
塩化水素濃度	700mg/m ³ N以下		2.9	20.0	1.4	18.0
窒素酸化物濃度	250ppm以下		21	16	61	52
一酸化炭素濃度	100ppm以下		10未満	10未満	12未満	13未満
水銀濃度	50 μg/m ³ N		0.12未満		0.92	
項 目	基準値	煙道	令和6年5月29日	令和6年8月21日	令和6年11月29日	令和7年2月14日
ばいじん(ダスト)濃度	0.15g/m ³ N以下	2号炉	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
硫黄酸化物濃度	320ppm以下		0.8	1.4	0.5未満	0.5未満
塩化水素濃度	700mg/m ³ N以下		15.0	27.0	10.0	17.0
窒素酸化物濃度	250ppm以下		67	20	56	27
一酸化炭素濃度	100ppm以下		12未満	11未満	9未満	10未満
水銀濃度	50 μg/m ³ N		2.20		0.39	

表中の未満は、測定定量下限値未満を示しています。

悪臭測定項目：測定場所は、測定位置図のとおりです。

③

項 目		基準値(敷地境界上)	令和6年度	
			No.1調査日	No.2調査日
			令和6年7月18日	令和6年7月18日
1	アンモニア	2ppm以下	0.1未満	0.1未満
2	メチルメルカプタン	0.004ppm以下	0.0002未満	0.0002未満
3	硫化水素	0.06ppm以下	0.002未満	0.002未満
4	硫化メチル	0.05ppm以下	0.001未満	0.001未満
5	二硫化メチル	0.03ppm以下	0.0009未満	0.0009未満
6	トリメチルアミン	0.02ppm以下	0.0005未満	0.0005未満
7	アセトアルデヒド	0.1ppm以下	0.005未満	0.005未満
8	プロピオンアルデヒド	0.1ppm以下	0.005未満	0.005未満
9	ノルマルブチルアルデヒド	0.03ppm以下	0.0009未満	0.0009未満
10	イソブチルアルデヒド	0.07ppm以下	0.002未満	0.002未満
11	ノルマルバレールアルデヒド	0.02ppm以下	0.0009未満	0.0009未満
12	イソバレールアルデヒド	0.006ppm以下	0.0003未満	0.0003未満
13	イソブタノール	4ppm以下	0.09未満	0.09未満
14	酢酸エチル	7ppm以下	0.3未満	0.3未満
15	メチルイソブチルケトン	3ppm以下	0.1未満	0.1未満
16	トルエン	30ppm以下	1未満	1未満
17	スチレン	0.8ppm以下	0.04未満	0.04未満
18	キシレン	2ppm以下	0.1未満	0.1未満
19	プロピオン酸	0.07ppm以下	0.003未満	0.003未満
20	ノルマル酪酸	0.002ppm以下	0.0001未満	0.0001未満
21	ノルマル吉草酸	0.002ppm以下	0.00009未満	0.00009未満
22	イソ吉草酸	0.004ppm以下	0.0001未満	0.0001未満

表中の未満は、測定定量下限値未満であることを示しています。

騒音及び振動測定：測定場所は、測定位置図のとおりです。

騒音測定：施設稼働による影響

④

測定地点	調査回数	時期	騒音レベル(dB)			
			朝:5時～7時	昼間:7時～20時	夕:20時～22時	夜間:22時～翌5時
東側敷地境界 No.1地点	年4回	6月	51	52	65	60
		9月	45	46	47	41
		12月	42	48	41	36
		3月	40	44	39	31
北西側敷地境界 No.2地点	年4回	6月	52	57	51	50
		9月	49	55	49	44
		12月	51	54	49	48
		3月	51	55	49	47
基準値(敷地境界上)			50	60	50	45

測定地点	調査回数	時期	騒音レベル(dB)	
			昼間：6時～22時	夜間：22時～翌6時
東側民地 No.3地点	年4回	6月	49	50
		9月	42	39
		12月	46	36
		3月	41	31
参考値※1			55	45
岡山 吉井線① No.4地点	年4回	6月	56	50
		9月	56	51
		12月	58	50
		3月	56	49
参考値※1			70	65

※1:参考値は、環境基準等の指定がないため、周辺環境の状況を踏まえて設定しています。

調査日：R6年6月4日～5日　9月3日～4日　12月3日～4日　R7年3月11日～12日

No.1、2、3の地点での騒音レベルが環境基準や参考値を上回りましたが、これらの主要な騒音源はカエル、虫、鳥、水路の流水音に起因する騒音であり、赤磐市環境センター施設稼働に起因する騒音が要因ではありませんでした。

騒音及び振動測定：測定場所は、測定位置図のとおりです。

振動測定：施設稼働による影響

⑤

測定地点	調査回数	時間帯	振動レベル(dB)	
			調査結果	基準値(敷地境界上)
東側 敷地境界 No.1地点	年1回	昼間:7時～20時	25	60
		夜間:20時～翌7時	25未満	55
北西側 敷地境界 No.2地点	年1回	昼間:7時～20時	30	60
		夜間:20時～翌7時	25	55
測定地点	調査回数	時間帯	振動レベル(dB)	
			調査結果	規制値等※1
東側民地 No.3地点	年1回	昼間:7時～20時	26	55
		夜間:20時～翌7時	25未満	55
岡山 吉井線① No.4地点	年1回	昼間:7時～20時	38	55
		夜間:20時～翌7時	27	55

調査結果は、各時間帯の算術平均値を示しています。

表中の未満は、測定定量下限値未満であることを示しています。

※1: No.3、No.4の周辺地点は、振動を感じる感じないの境界とされる振動レベルと比較しています。

調査日: 令和6年12月3日～4日

騒音及び振動測定：測定場所は、測定位置図のとおりです。

⑥ 騒音測定：収集運搬車両による影響

測定地点	調査回数	時間帯	騒音レベル(dB)	
			調査結果	基準値(参考値)
岡山 吉井線① No.4地点	年1回	昼間:6時～22時	67	(70)
		夜間:22時～翌6時	60	(65)
桜が丘北 幹線 No.5地点	年1回	昼間:6時～22時	63	65
		夜間:22時～翌6時	55	60
岡山 吉井線② No.6地点	年1回	昼間:6時～22時	71	(70)
		夜間:22時～翌6時	65	(65)

※参考値は、環境基準等の指定がないため、周辺環境の状況を踏まえて設定しています。

調査日：令和6年12月3日～4日

No.6の騒音レベルが基準値(参考値)を上回りましたが、他の交通車両の影響を大きく受けたことに起因します。

振動測定：収集運搬車両による影響

測定地点	調査回数	時間帯	振動レベル(dB)	
			調査結果	基準値
岡山 吉井線① No.4地点	年1回	昼間:7時～20時	38	65
		夜間:20時～翌7時	27	60
桜が丘北 幹線 No.5地点	年1回	昼間:7時～20時	25未満	70
		夜間:20時～翌7時	25未満	65
岡山 吉井線② No.6地点	年1回	昼間:7時～20時	44	65
		夜間:20時～翌7時	31	60

表中の未満は、測定定量下限値未満であることを示しています。

調査日：令和6年12月3日～4日

環境調査項目：測定場所は、測定位置図のとおりです。

⑦

大気質測定

調査項目		測定結果						
		No.1 津崎地区	No.2 下市地区	No.3 町苅田地区	No.4 桜が丘地区	No.5 西中地区	No.6 東窪田地区	No.7 尾谷地区
ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)	測定値	0.0044	0.0067	0.0056	0.0046	0.0050	0.0057	0.0056
	基準値	年平均値0.6pg-TEQ/m ³ 以下						
硫黄酸化物(ppm)	1時間最高値	0.001	0.002	0.003	0.002	0.002	0.001	0.002
	基準値	0.1ppm以下						
	日平均最高値	0.001	0.000	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001
	基準値	0.04ppm以下						
塩化水素(ppm)	期間平均値	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	参考値	0.02ppm以下						
窒素酸化物(ppm)	日平均最高値	0.001	0.003	0.003	0.002	0.004	0.003	0.002
	基準値	0.04ppm以下						
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	1時間最高値	0.040	0.038	0.046	0.039	0.044	0.030	0.056
	基準値	0.20mg/m ³ 以下						
	日平均最高値	0.024	0.027	0.020	0.024	0.026	0.018	0.025
	基準値	0.10mg/m ³ 以下						

調査日：R6年11月13日～19日

表中の<は、測定定量下限値未満を示しています。

【測定場所】

津崎(津崎コミュニティハウス)、下市(山陽産業会館)、町苅田(石相小学校)、桜が丘(桜が丘運動公園)、西中(西山公民館)、東窪田(農業大学校)、尾谷(尾谷公会堂)

環境調査項目：測定場所は、測定位置図のとおりです。

⑧

ダイオキシン類濃度調査

媒体	調査回数	令和6年度			
		調査地点	試料採取日	調査結果	基準値
水質 (pg-TEQ/L)	年1回	B-3 防災調整池放流口	令和6年11月22日	0.00072	10
水質 (pg-TEQ/L)	年1回	B-1 井戸	令和7年1月20日	0.029	1
		B-2 井戸	令和7年1月20日	0.029	
土壌 (pg-TEQ/g)	年1回	C-1 田	令和7年1月20日	31	1,000
		C-2 田	令和7年1月20日	40	
		C-3 田	令和7年1月20日	23	

田の土壌測定値に若干差がありますが、この要因は自然界に存在するものに加え、稲作での除草剤の使用、農業用水としての田への引き込み(水中にもダイオキシンが溶け込みやすい)など長年にわたり蓄積されたことに起因するものと考えられます。